

DevOps 製品関連 サービスメニューのご紹介

日本アイ・ビー・エム株式会社
ソフトウェア&システム開発研究所
クラウドSWサービス



はじめに

- 当資料はソフトウェアサービスが提供するDevOps製品に関連するサービス・メニューを集めたものです。
- この資料の内容は予告無く変更される場合があります。最新情報はソフトウェアサービス担当者へお問い合わせください。
- 当資料は2018年3月14日時点の情報です。

目次

page	サービス名	対象製品
4	IBM MobileFirst Platform Foundation 評価環境構築支援サービス	IBM MobileFirst Platform Foundation
5	IBM MobileFirst Platform Foundation技術QA支援サービス	IBM MobileFirst Platform Foundation
6	IBM UrbanCode Deploy 初期導入支援サービス	IBM UrbanCode Deploy
7	IBM UrbanCode Deploy テンプレート開発研修サービス	IBM UrbanCode Deploy
8	IBM Rational Test Workbench Web UI Testerを利用した機能テスト自動化支援	IBM Rational Test Workbench Web UI Tester
9	テスト仮想化支援サービス	IBM Rational Integration Tester および IBM Rational Test Virtualization Server
10	IBM Rational Performance Testerを利用した負荷テスト自動化支援サービス	IBM Rational Performance Tester
11	テストツール技術QA支援サービス	IBM Rational Test Workbench

概要・特徴

- IBM MobileFirst Platform Foundation (MFPF) はモバイル・アプリケーションを効率的かつ効果的に構築するためのプラットフォームを提供するソフトウェアです。
 - モバイル・アプリケーションからのバックエンドのデータ、各種システム、クラウド・サービスへの接続を容易にします。
 - デバイス、アプリケーション、データ、ネットワーク層でのモバイル・セキュリティの保護を実現します。
 - 複数のモバイル環境をサポートします (iOS/Android/Windows、ネイティブ/ハイブリッドなど)。
- 本サービスは、お客様内でのモバイル・アプリケーション検討環境の早期構築をご支援するものです。

サービス内容

■作業項目 (期間：3週間)

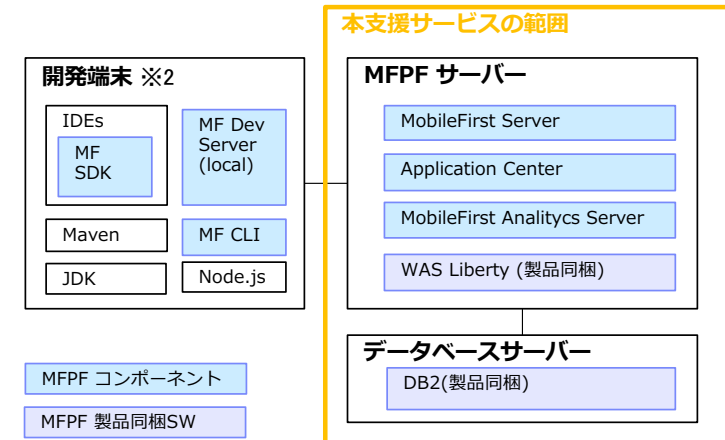
- MFPFサーバー環境構築 ※1

評価用のMFPFサーバー環境をお客様内にオンプレミスで構築します。サーバーは MFPFサーバーおよびデータベースサーバーの2台構成、または MFPF機能とデータベースを同一サーバーに導入する1台構成のいずれかとします。

 - 対象OS：RedHat Enterprise Linux または Windows
 - アプリケーションサーバー： WAS Liberty (製品同梱)
 - データベース： DB2 (製品同梱)
 - MFPFコンポーネント
 - MobileFirst Server
 - MobileFirst Analytics Server
 - Application Center

■作成物

- MFPFサーバー導入手順書
- MFPFサーバー導入設定書



※ 1 MFPFのシステム要件を満たす専用機を事前にご準備ください。NW/HW/OS(MFPF前提パッケージの適用含む) はお客様にてご準備いただきます。個々のモバイル・アプリケーション要件に関連する設定および技術支援は本サービスの対象外とします。(例：認証、プッシュ通知の設定など)

※ 2 開発端末の導入に関する技術支援は含まれません。開発端末へのMFPFコンポーネント(Development Server, CLI, SDK)の導入は、公式ガイドをご参照いただきお客様にてご実施いただきます。弊社ご支援が必要な場合、別途お見積りさせていただきます。

概要・特徴

- IBM MobileFirst Platform Foundation (MFPF) はモバイル・アプリケーションを効率的かつ効果的に構築するためのプラットフォームを提供するソフトウェアです。
 - モバイル・アプリケーションからのバックエンドのデータ、各種システム、クラウド・サービスへの接続を容易にします。
 - デバイス、アプリケーション、データ、ネットワーク層でのモバイル・セキュリティの保護を実現します。
 - 複数のモバイル環境をサポートします (iOS/Android/Windows、ネイティブ/ハイブリッドなど)。
- 本サービスは、MFPFの技術QA支援をご提供します。

サービス内容

■作業項目 (期間: 1ヶ月~)

- MFPF技術QA支援
 - 基本的にメールによる MFPF に関する技術QAの受付/回答を実施します。
 - お客様環境に特化した、MFPFご利用に関する技術QAも受付/回答を実施します。
 - お客様担当窓口を設定します。
 - QAは原則メールにて対応予定ですが、メールだけで意図が伝わりにくい場合など、必要に応じて電話でも対応させていただきます。また、お客様からご要望のあった場合は、期間中最大 4 回程度のオンサイトでのQA支援を実施します。
 - QAについて、最大月10件程度の対応とさせていただきます。
 - メールによる MFPF に関する技術QAの受付/回答を実施します。

■作成物

- QAサマリーレポート (月ごと)

■ご提供条件

- 作業時間は原則として平日の弊社業務時間帯とします。
- IBM MFPF に関して、Passport Advantage契約を締結されていることを前提とします。
- QAはMFPFに関する技術問い合わせを対象とします。MFPF製品の仕様や障害に関するお問い合わせについては対象外とし、お客様より弊社サポートセンターへお問い合わせいただきます。
- QAの件数または作業量が契約時の想定を超えた場合は、別途協議の上、追加見積り等ご相談させていただきます。
- モバイル・アプリケーション開発に関連するMFPFのご質問 (MFPF設定、SDKを利用したコードサンプル等) については、MFPF公式ガイドの範囲での回答となります。お客様にて開発するモバイル・アプリケーションそのものに関するQAおよびサンプルコードの作成、提供は対象外とします。

概要・特徴

- IBM UrbanCode Deploy (UCD) はアプリケーション・デブローの自動化を実現するソフトウェアです。
 - テスト環境～本番環境までの複数環境へのアプリケーション・デブロー自動化をサポートします。
 - セキュリティーの権限によりデブローにおける画面表示や操作に制限をかけ、リリース作業のガバナンスを強化します。
 - デブロー作業を効率化し、開発サイクルの短縮化（DevOps）を実現します。
- 本サービスは、UCDの技術支援を通じて、お客様におけるアプリケーション・デブロー自動化の早期実現をご支援するものです。
 - お客様におけるリリース課題に対してUCDをどう適用できるかの共同検討を行います。
 - お客様内にUCD環境を構築し、自動化されたデブロー・プロセスのパイロット実装を行います。
 - パイロット実装を通じて、お客様におけるUCD適用難易度を評価し、今後の展開につなげます。
- 本サービスをご利用いただくことで、アプリケーション・デブロー自動化を効率的に始めることができます。

サービス内容

■作業項目（期間：1.5ヶ月 ※1）

- 現行ヒアリング
 - お客様の現行のリリースプロセスにおける課題をお伺いします。
 - お客様内での代表的なアプリケーション・リリースの方法をお聞きし、関連する操作、モジュールの流れおよび関連する実装（リリースシェル2～3本等）を調査します。
- UCDワークショップ
 - UCD製品説明会を実施します。また、現行ヒアリングの内容を元にお客様内のリリースプロセスにUCDをどう適用できるかの共同検討を行います。
- UCD導入 ※2
 - お客様内にUCD環境を構築します。UCDサーバーを新規に導入し、アプリケーションの配布先サーバー3台にUCDエージェントを導入します。
- UCDデブロープロセスのパイロット実装
 - 構築したUCD環境に、お客様のアプリケーション・デブロープロセスの一部を実装し自動化します。（パイロット実装）
 - パイロット実装を通じて、お客様におけるUCD適用難易度および他のリリースシナリオへの適用方法を評価し、今後どのようにアプリケーション・デブローの自動化を進めていくか、UCDの最終利用イメージを共有します。
- 技術教育 ※3
 - リリース担当者（UCD利用ユーザー）およびリリースプロセス定義担当者（UCDシステム設定・管理担当者）に向けて、技術研修を行います。

■作成物

- UCD導入手順書
 - UCD導入設定書
- ※1 要員2名、非常駐によりご支援させていただきます。期間や作業量が本サービスの想定を超える場合は別途お見積りをさせていただきます。
※2 サーバーはUCDのシステム要件を満たす専用機をご準備ください。また、リリース先環境がUCDエージェント要件を満たすことをご確認ください。
※3 各担当者合わせて5名程を対象に、2日程度の研修を実施する想定です。

概要・特徴

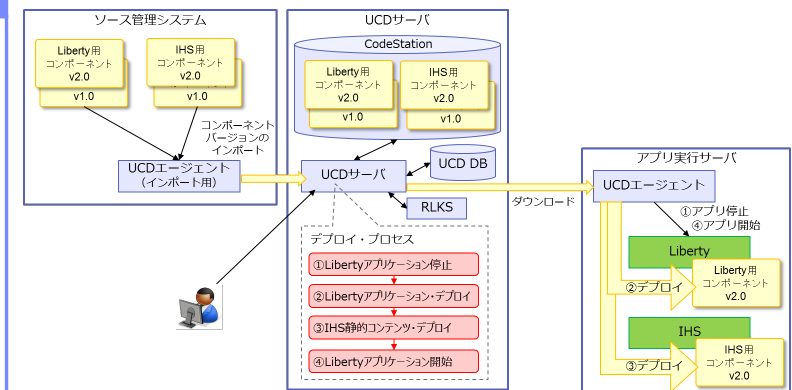
- IBM UrbanCode Deploy (以下「UCD」という。) は、開発サイクルの各環境に対する開発済み資材のデプロイを自動化する製品です。テスト環境から本番環境までの複数環境への資材のデプロイ自動化をサポートし、デプロイ作業を効率化して開発サイクルの短縮化 (DevOps) を実現します。
- UCDのテンプレートを使用すると、設定したUCD構成要素の組み合わせを再利用でき、新規アプリケーションの追加設定が容易になるだけでなく、標準化されたUCDの運用が可能となります。
- 本研修サービスでは、UCDのテンプレート開発についてハンズオン形式の研修サービスを提供します。

サービス内容

■ 作業項目

- 以下の内容のハンズオン形式の研修を実施します。
 - UCD概要編、利用編：1日
 - UCD開発編：1日
- 概要編では、UCDの構成要素、UCDにおけるプロセス開発の流れについて、レクチャー形式で説明します。
- 利用編および開発編では、ファイル・システムおよびJenkinsからデプロイ対象資材をUCDにインポートし、実行サーバー上のWebSphere Application Server Liberty(以下、Liberty)およびIBM HTTP Server(以下、IHS)にWebアプリケーションのデプロイを行う想定シナリオを用いて、テンプレートの開発、利用を行う手順をハンズオン形式で説明します。
- 研修内容に関するQ&A対応を実施します。

※ お客様ごとに、要件をヒアリングの上、研修スケジュールおよび費用についてお見積もりをさせていただきます。



想定シナリオのイメージ

概要・特徴

- IBM Rational Test Workbench Web UI Tester (RTWW) は非常に複雑な統合アプリケーションの品質上の課題に対処するために、エンドツーエンドの機能テスト、パフォーマンス・テスト、リグレッション・テスト、統合テストを行う IBM Rational Test Workbench のコンポーネントです。
 - ブラウザー・ベースの Web アプリケーションに対するテスト機能を提供します。
 - 異機種複合テストおよび IBM Rational Quality Manager からのキーワードを使用したテスト自動化のサポートも可能です。
- 本サービスは、RTWWの技術支援を通じて、お客様におけるWebアプリケーションテスト効率化の早期実現をご支援するものです。
 - お客様におけるテスト課題に対してRTWWをどう適用できるかの共同検討を行います。
 - お客様内にRTWW環境を構築し、Webアプリケーションテストのパイロット実装を行います。
 - パイロット実装を通じて、お客様におけるRTWW適用難易度を評価し、今後の展開につなげます。
- 本サービスをご利用いただくことで、Webアプリケーションテストを効率的に実施できます。

サービス内容

■作業項目（期間：1ヶ月 ※1）

- 現行ヒアリング
 - お客様の現行のテストにおける課題をお伺いします。
 - お客様内のWebアプリケーションの環境/現行テスト方式、ツールの利用方法をお聞きし、関連する操作(録画・再生) および関連する実装方法を調査します。
- RTWW導入 ※2
 - お客様内の非本番環境（RTWWの評価・習熟用として使用する環境）へRTWWを導入します。
- RTWWによるテストシナリオ実装
 - RTWW導入環境にて、お客様内の典型的なテスト2-3パターンを、パイロット実装します。（パイロット実装）
 - パイロット実装を通じて、お客様におけるRTWW適用難易度を評価し、今後どのようにWebアプリケーションテストを進めていくか、RTWWの最終利用イメージを共有します。
- 技術教育 ※3
 - テスト担当者（RTWW利用ユーザー）およびシステム運用担当者に向けて、技術研修を行います。

■作成物

- RTWW導入手順書
- RTWW教育資料

※1 要員2名、非常駐によりご支援させていただきます。期間や作業量が本サービスの想定を超える場合は別途お見積りをさせていただきます。

※2 Windows環境1台を想定しています。RTWWのシステム要件を満たす専用機をご準備ください。

※3 各担当者合わせて5名程を対象に、2日程度の研修を実施する想定です。

概要・特徴

- 本支援サービスは、IBM Rational Integration Tester および IBM Rational Test Virtualization Server（以下「RIT」「RTVS」という。）に関する技術支援を通して、お客様におけるシステム間テスト仮想化の早期実現をご支援するものです。
 - お客様のテスト課題に対して、RIT/RTVSをどう適用できるかの検討を行います。
 - お客様内にRIT/RTVS環境を構築し、仮想化されたシステム間テストのパイロット実装を行います。
 - パイロット実装の結果をまとめて、今後の展開につなげます。

サービス内容

■作業項目（期間：3ヶ月）

- 現行テスト方式のヒアリング
 - 現行テスト課題のヒアリング
 - お客様テスト対象環境、アプリケーションの調査
 - 現行テスト方式、使用ツールのヒアリング
- RIT/RTVS導入
 - お客様環境へのRIT/RTVSの導入 ※1
- RIT/RTVSによるテストシナリオ実装
 - 選定したお客様テスト2~3パターンに対するパイロット実装 ※2
- パイロット実装の結果まとめ
 - テスト仮想化の効果の検証
 - 最終利用イメージの共有
 - 今後のアクションプランの共有
- 技術教育 ※3
 - テスト担当者向け（RIT/RTVS利用ユーザー）
 - テストツール担当者向け（RTVSシステム設定・管理担当者）

■作成物

- RIT/RTVS導入手順書
- RIT/RTVS操作ガイド

※1 RIT/RTVS それぞれ Windows 環境1台に導入をおこないます。システム要件を満たす専用機をご準備ください。

※2 対象プロトコルは2つまでとさせていただきます。

※3 5名程度の方を対象とさせていただきます。

概要・特徴

- 本支援サービスは、お客様における負荷テスト自動化の早期実現をご支援するために、Rational Performance Tester（以下「RPT」という。）を用いたパイロット実装を通じて負荷テスト自動化の効果を検証するものです。
 - お客様の負荷テスト課題を洗い出し、負荷テスト自動化の評価項目の検討を行います。
 - お客様内にRPT環境を構築し、自動化された負荷テストのパイロット実装を行います。
 - パイロット実装の結果をまとめて、今後の展開につなげます。
- 本サービスをご利用いただくことで、負荷テストの自動化を効率的に始めることができます。

サービス内容

■作業項目（期間：1ヶ月 ※1）

- 現行の負荷テスト方式・課題のヒアリング
 - 現行の負荷テストにおける課題のヒアリング
 - 選定したお客様の負荷テスト・シナリオの調査 ※2
- RPT導入
 - お客様環境へのRPTの導入 ※3
- RPTによる負荷テストのパイロット実装 ※4
 - 選定したお客様の負荷テスト・シナリオにおける負荷テストのパイロット実装
- パイロット実装のまとめ
 - 負荷テスト自動化の効果の検証
 - 他システムへの適用方法の検討、今後のアクションプランの共有
- 技術教育 ※5
 - 負荷テスト担当者向け（負荷テストのシナリオ作成者・RPT利用ユーザー）
 - 負荷テストツール担当者向け（RPTシステム設定・管理担当者）

- 作成物
 - RPT導入手順書
 - RPT教育資料
- ※1 要員2名が非常駐によりご支援させていただきます。期間や作業量が本サービスの想定を超える場合は別途お見積をさせていただきます。
※2 お客様内での代表的な負荷テストを選定し、その負荷テストに関するテスト計画やテスト・シナリオ(2~3個)を調査します。
※3 PC1台を対象とします。負荷テストが実施可能なサーバーをご準備ください。
※4 代表的なテスト・シナリオを1つ選んで実装します。負荷の大きさはお客様と相談して決定します。
※5 各担当者合わせて5名程度を対象に、半日程度の研修を実施する想定です。

概要・特徴

- 本支援サービスは、IBM Rational Test Workbench（以下「RTW」という。）に関する技術QA支援をご提供します。
- RTWにコンポーネントとして含まれる以下の製品を支援対象とします。
 - IBM Rational Integration Tester（以下「RIT」という。）
 - IBM Rational Performance Tester（以下「RPT」という。）
 - IBM Rational Test Workbench Web UI Tester（以下「RTWW」という。）
 - IBM Rational Functional Tester（以下「RFT」という。）

サービス内容

■作業項目（期間：1ヶ月～）

- 前提支援対象
 - RTWのコンポーネントのいずれかを導入済みで、運用管理フェーズのお客様を支援対象とします。
- テストツール技術QA支援
 - 基本的にメールによるテストツールに関する技術QAの受付/回答を実施します。
 - お客様環境に特化した、テストツールご利用に関する技術QAも受付/回答を実施します。
 - 例) 「RTWWで新しく作ったスクリプトの再生がうまくいかない。」
 - 「RPTを使ってテストシナリオを作成したが、意図したとおりに負荷がかからない。」
 - 「RITを使ってスタブを作成したがうまく動作しない。」など
 - お客様担当窓口を設定します。
 - QAは原則メールにて対応予定ですが、メールだけで意図が伝わりにくい場合など、必要に応じて電話でも対応させていただきます。また、お客様からご要望のあった場合は、期間中最大4回程度のオンサイトでのQA支援を実施します。
 - QAについて、最大月10件程度の対応とさせていただきます。

■作成物

- QAサマリーレポート（月ごと）

■ご提供条件

- 作業時間は原則として平日の弊社業務時間帯とします。
- RTWに関して、Passport Advantage契約を締結されていることを前提とします。
- QAはRTWに関する技術問い合わせを対象とします。RTW製品の仕様や障害に関するお問い合わせについては対象外とし、お客様より弊社サポートセンターへお問い合わせいただけます。
- QAの件数または作業量が契約時の想定を超えた場合は、別途協議の上、追加見積り等ご相談させていただきます。